

上州國定村無宿忠次郎
 清閑所送り一件記録
 嘉永三年十二月廿一日



K2892
J 79

嘉永三年十二月廿七日

上列圖定村今石忠深中成孫家

同永大戶河國所

長上捨札之字



後又同七八村地物原在及道至南成也
法津中意心及物物内通法より同人各々
右所記の成法結心法津中法津中法津中
お母よりいふ法津中法津中法津中
物物原の場中中拍法津中法津中
法津中法津中法津中法津中法津中
中石長法津中法津中法津中法津中
伴老一切法津中法津中法津中法津中
の法津中法津中法津中法津中法津中
今法津中法津中法津中法津中法津中

法津中法津中

公儀法津中法津中法津中法津中法津中
捕方探察之近法津中法津中法津中法津中
法津中の法津中法津中法津中法津中法津中
法津中の法津中法津中法津中法津中法津中
法津中の法津中法津中法津中法津中法津中
法津中の法津中法津中法津中法津中法津中
法津中の法津中法津中法津中法津中法津中
法津中の法津中法津中法津中法津中法津中
法津中の法津中法津中法津中法津中法津中
法津中の法津中法津中法津中法津中法津中

成
十二月

嘉永十一年正月... 園所... 道中... 石... 山...

子門... 氏... 又... 依... 洋...

子門... 友... 氏... 又... 依... 洋...

35/23

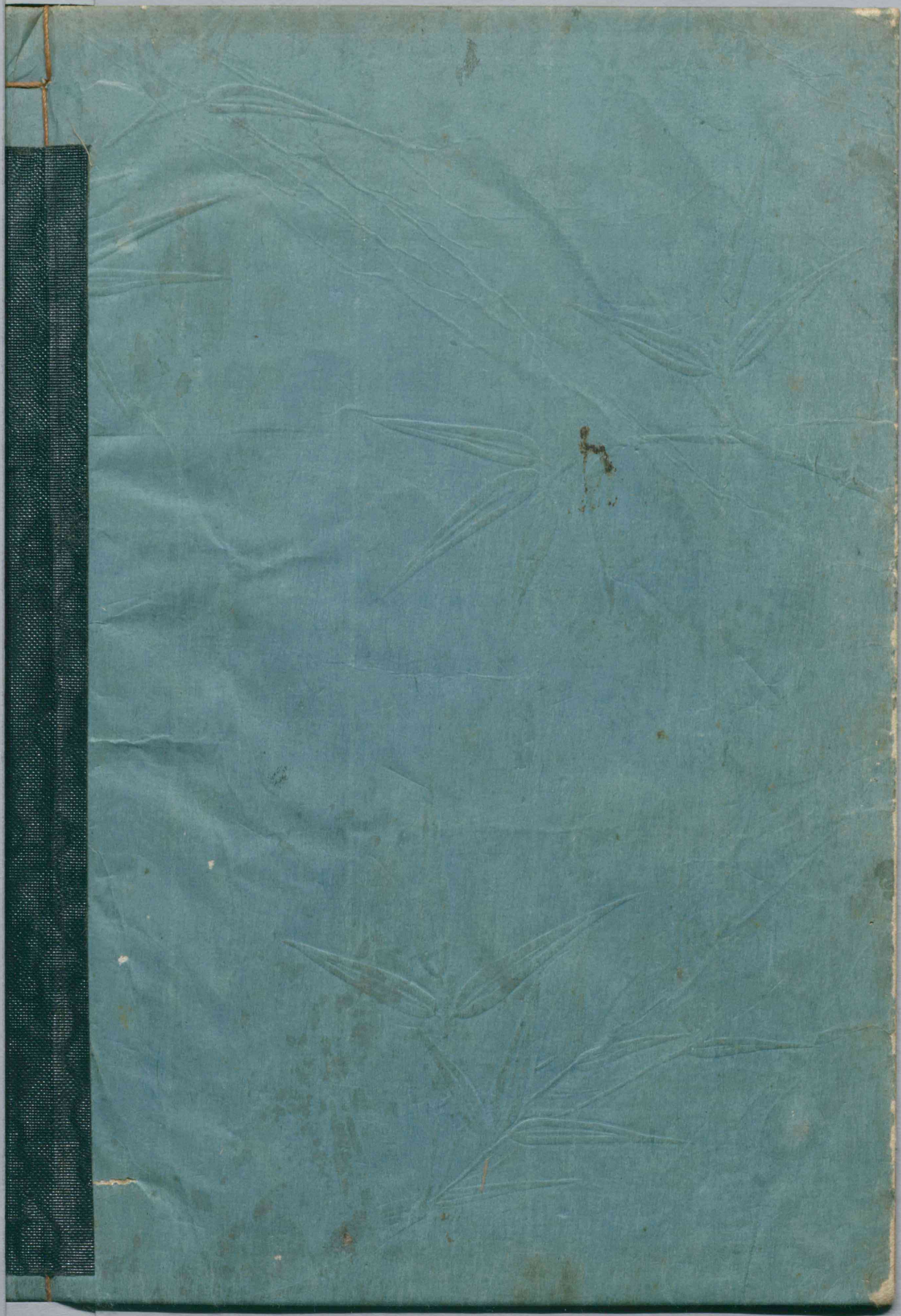
御 注 意

- 本は大切に扱きましょう。
- 本は転貸借はお断りします。
- 10日間の期限に必ず返して下さい。
- 本を汚損または紛失した時は同一の本
又は相当代価を弁償していただきます。

群馬県立図書館
前橋市栄町10番地
(電話 2) 3008 番)

美 邦 様



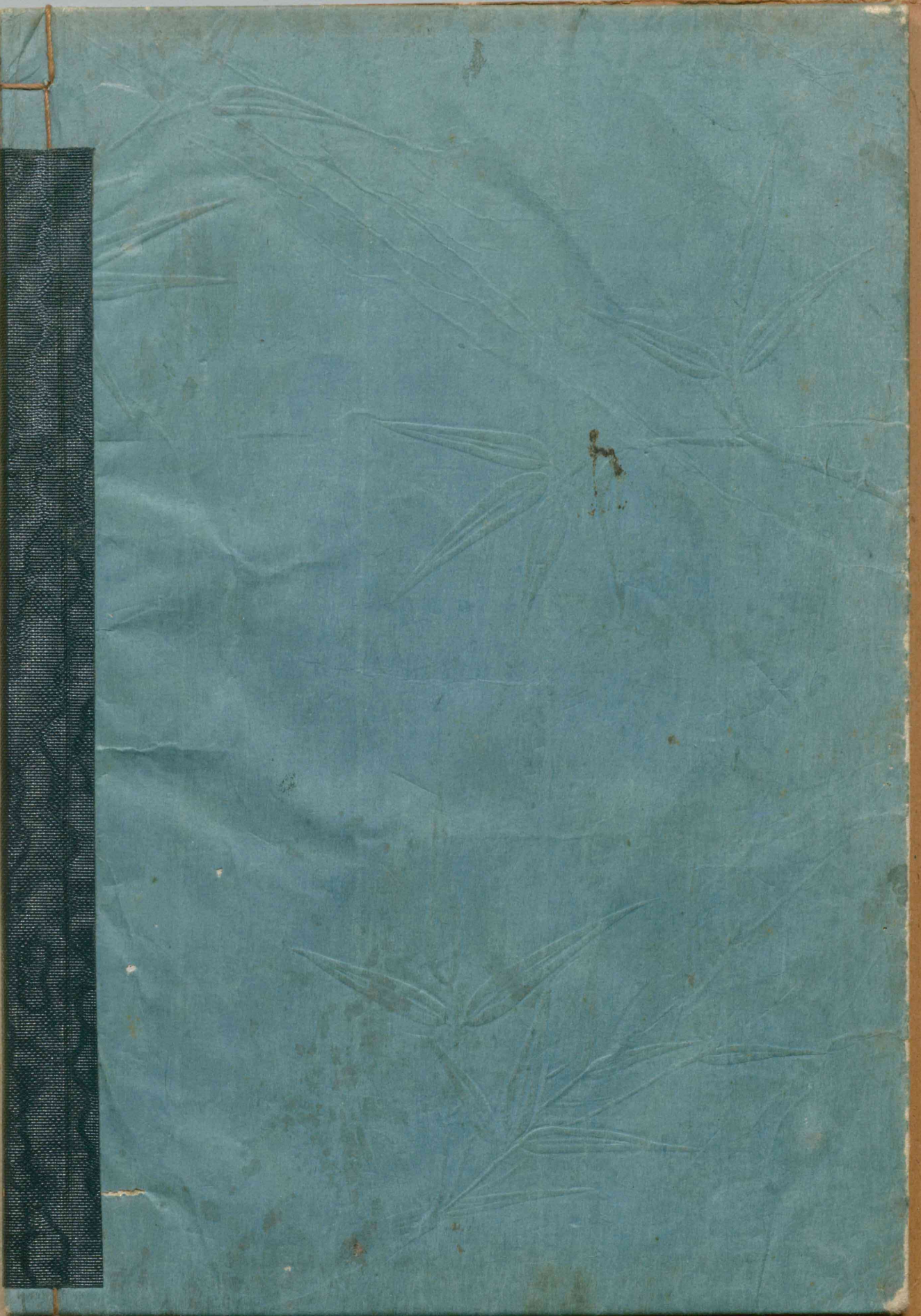


上州國定村無宿忠次郎

印圖折送り一併記録

嘉永三年丁二月廿一日

羣馬県立図書館



嘉永三戌十二月二十一日朝五時

上州國定村無宿忠次郎成四拾壹歲

同國大戸御關所おのり磔に相掛

節御拾札之字

羣馬県立図書館

國定村

無宿

忠次郎

成四十卷

此もの儀無宿之身分にて長脇差を帯又は

合口等所持博徒共数多分致し上州田部

ヶ井村たつ宅其外最寄國ヶ所ヶ野田山林等

又は同所宇右卫門と申合溜井浚に事寄横行

小屋取立同類多人数手合いたし筒取貸

成賽博奕相催居村清五郎無宿安五郎に代

20 X 20

羣馬県立図書館

貨元をも為致其外寺口口ノ子或は揚錢と号
 金錢受取其上博奕渡世頭取或は差配と唱へ此者
 共無沙汰博徒共寄合博奕相催候節は長脇差
 帶踏込其場に有之金錢等掠取安五郎は石
 差配差免し所持之古満札一通り與遣し無宿
 佐与松儀手目博奕致し村々百姓共欺多少之
 金錢掠取趣及承博奕渡世風儀も拘る等申聞
 首代と号金子為差出殊子分之内無宿文蔵儀
 博奕賭錢取敷之儀付無宿伊三郎と口論及打
 擲逢残念之由咄聞候を承り子分のもの

右様之打擲受候を捨置ならは伊三郎強氣
 臆候等心得右憤りを晴へくと文蔵助力及ひ
 同國境町地内におねて同人共伊三郎殺害
 及追右文蔵儀關東取締出役もの召捕に候
 節は文蔵を取戻べくと多人數申合得物等
 携右出役旅宿同國木崎近辺三ツ木山迄押
 参り又は田部井村又八宅借請同類其外呼集
 博奕相催候砌此の兄弟之契約致置無宿浅次郎
 並同人子分の共不相審存居候折柄
 取締出役捕方として可被越候と之趣宇石工門

羣馬県立図書館

為知越候驚き逃去ルなれと云々の節右浅次郎
 伯父同國八寸村勘助儀ヲ右出役道案内ニ成石
 浅次郎変心及勘助ト内通致候より同人羞口にて
 石体手配相成儀と疑ひ浅次郎を呼寄右次第を以
 相咎メ其分難差置若存命罷在度ならハ
 勘助首級携參申披可致等と強勢申掛故ニ
 浅次郎儀終伯父勘助を切害及仕義相成利
 無宿長兵紅儀信州路おみて同國中野村忠兵紅
 悴原七切害披及候趣承込仇討可致と子分の
 もの共数多引連鑓鉄砲等を携押參_三切道

大戸御関所有之差支連右御関所除山越
 致候段不恐
 公儀致方殊右体所悪事及身分の召
 捕方探索可逃云め取締出役道案内等心得
 居候もの共^江金子相送^追病氣附右右宇紅内
 方罷越養生中五日牛村忠右紅内養母とく
 其外妾同様致罷^在まち儀呼寄看病為致
 罷在始末重々不届至極付磔行もの也

成
 十二月

嘉永三戌十二月国定村無宿忠次郎大戸
 御関所^二お^一为^二了^一所仕置^レ被^レ仰付候^二付^一右囚人
 道中附添^并御場所警固等^二被^レ仰付候^二出^一方
 名面左^二但御用状^二而被召

品川宿

庄次郎

神奈川宿

仁太郎

内藤新宿

定五郎

又五郎

伊兵衛

白子宿

佐文治

溝之口

文吉

千住宿

秀五郎

川口宿

友次郎

岩槻宿

嘉十郎

幸手宿

左吉

辰五郎

関宿所

亀吉

結城所

善八

小山宿

清太郎

石橋宿

奎兵衛

高崎宿
長蔵
花三郎

吉五郎

板鼻宿
栄五郎

駒次郎

松井田宿
啓五郎

幸助

萱野村
兵衛

幸助

茂平

足利町

榎田川宿

八木宿

小俣村
幸三郎

石之面、道中附添警固

花之敷日頃之悪物程有之往生也立派御座候

当日即出役様方江礫柱之上、而即禮申上大夫

夫御座候

上州浜川、而認

戌
十二月廿二日
嘉十郎

菱
旦那様

道中囚人仕度並人相書左

羣馬県立図書館

一丈高く色白く

一鼻筋通り

一口常躰

一月代二く

一太り候方

一月方廿々余有之

但至而美男之方

其時之衣類

一浅黄むく 式フ

一白むく 巻フ

一同襦袢

巻フ

一同手甲脚半

一同太き丸くけ帯メ

一唐更紗蒲団式フ

一紅之蒲団 巻フ

一大成珠敷首かケ

メ

右江度^ニ而^ト小丸^ヲ駕^シ篋^ニ兼本繩打^不多^ク打^其時

林部善太左衛門様より^テ御付^テ漆警固^ニ之^レ御^被役^ス人

秋葉堅次郎様 御供^三人 組陣笠をか^カあり

秋汲平様 先^御同^断

右之通^ニ而^テ御^通り

御取締様方^ハ

渡辺旦那様 吉岡旦那様

南 旦那様 安原旦那様

右御四人様御供^不残^立附^ニ而^テ御^印附^羽織^誠

立候^之御^通行^之御^候大^戸表^ニ而^テ御^江置^相肴^候

羣馬県立図書館

直様早稲脚之石之趣
被遊候 即奉行所へ申渡す

成

丁二月二十一日

嘉十郎

菱且那樣

景立圖書館司書

井田全次郎 解説